

手術に関する注意

必ずお読み下さい！！

- ★猫が体調不良（下痢、嘔吐、食欲不振、鼻水、くしゃみ等）や薬物アレルギーの場合はお申し出ください。
- ★前日は夜9時位までに食事を与え、当日は水も食事も絶対に与えないで下さい。場合によってはお断りすることもあります。もし食べてしまったら受付でお申し出ください。
- ★抱くことが出来る猫は、必ず家で洗濯ネット（P3-2に説明）に入れ、ファスナーを最後までしっかり閉じ、更にケージ、ペット用キャリーやバスケット等に入れてから連れて来て下さい。猫は環境が変わるとパニック状態になり、もし逃げたら捕まえることはほぼ100%不可能です。決してそのまま抱いて来ないで下さい。当協会の方法に従って頂けない時は手術をお断りする場合があります。（洗濯ネットが小さ過ぎると判断した場合は必要サイズのものを有料で提供します）
- ★抱くことの出来ない捕獲オリやゲージで捕まえた猫は、洗濯ネットに移し替えないで、捕獲オリやゲージに入ったまま連れて来て下さい。（捕獲時の注意事項はP3-2）
- ★伝染病予防のワクチン接種をしていない猫は感染の危険性がゼロではありません。
- ★妊娠中でも手術は出来ますが、妊娠の状態によってリスクが高まります。
- ★子猫の月齢、体重が満たない場合は手術が出来ないことがあります。（メス4ヵ月未満、オス5ヵ月未満程度）

手術後の注意

必ず読んで下さい！！

<麻酔について>

- ★麻酔から醒めきらない状態で帰宅します。寝ながら吐くこともありますので、吐しゃ物のどに詰まり、気道を塞がないよう必ず横向きに寝かせて下さい。猫が自力で立ち上がるようになるまで注意をしてあげて下さい。
- ★術後のケアのため、少なくとも当日から2日間は屋内で暖かくして管理して下さい。麻酔から醒めるとき猫は体温調節がうまく出来ません。また、麻酔から醒めた時、ヨタヨタしたり、失禁や嘔吐することがありますが麻酔の影響です。（麻酔から完全に醒めるまでには半日から1日はかかりませんが、個体差がありますので一定ではありません）
- ★普段通りしっかりと歩くようになるまでは余り歩き回らせないようにして下さい。
- ★抱くことの出来ない捕獲オリで手術を受けた猫は、必ずケージの中で管理して下さい。この場合、中にペットシートを敷いてあげて下さい。
- ★食事や水も猫が自分で食べたり飲んだりするようになるまでは決して無理に口に入れないで下さい。

<傷口について>

- ★手術時に2日分の化膿止注射を打ってあります。
- ★傷は10日ほどで治りますが、乾かずにジュークジュークしている場合はご連絡下さい。
- ★猫が傷口を気にして縫糸をとってしまったり、舐め続けて赤く腫れた時はご連絡下さい。
- ★術後異常と思ったり、心配なことがある場合は当協会に相談して下さい。